

たけのこ

2020
APRIL

4

第34号



医療法人 久盛会

秋田緑ヶ丘病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川 84 番地
TEL (018) 845-2161 FAX (018) 846-6942
ホームページ <http://www.kyusei.or.jp/>



日本医療機能評価機構
認定病院



理念

友情を図り、「生きる喜び」と「希望」を育み、
「安全・安心・信頼の医療」を実現します。

指針

1. 医療の安全と質の向上に努め、信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚に努めます
3. 患者さんの人権と尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるよう自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域に貢献できるように努めます
6. 精神障がいに対する偏見や誤解の解消に努めます



春の訪れを知らせる 院内の梅の花



新病院長挨拶

院長 高橋 賢一

日本は、穏やかに平和に過ごせる時代を期待して平成という時代を迎えました。終戦後の平和な昭和の時代とは違って、平成は、想像を絶する津波、原発事故、地震、水害など地球温暖化に伴う大規模災害が起これ、また湾岸戦争やイスラム国など戦争・紛争・テロの時代でした。日本でも学歴社会や終身雇用の終焉の時代が進行して、これまでの価値観で人生を過ごすことができなくなった感があります。令和はどんな時代だろうと期待しましたが、ますます昏迷を深めている感じがします。米国の核拡散条約の破棄に伴う核戦争の危険性の増大、さらには今年初めからのコロナウイルス騒動が中国に止まらず、世界規模の人的な交流の影響もあり今やパンデミックをWHOが宣言する時代となっております。日本のみならず世界規模で大きな出来事が起こる時代となりました。

私がエンジニアをしていた時に、富士通は大型コンピュータの会社でしたが、その後、スマホやパソコンメーカーに変化していきました。その富士通の親会社は富士電機という電気製品のメーカーで、さらにその親会社が電線製造のメーカーであったことを思い出します。会社も時代の潮流に乗らなければ取り残されて、消えていく運命にあります。日本史を眺めてみると、織田信長が楽市楽座の経済活動、専業武士の創設、鉄砲の導入することなどで戦国時代が終焉を迎えることになったり、士農工商の垣根を越えて創設された長州藩の騎兵隊が戊辰戦争で幕府軍を破って、明治維新の迎えることになったりします。組織も社会システムもその時代の変化に対応できなければ消滅し、新たなものに置き換わっていきます。

日本では世界に先駆けて少子高齢化が現実のものとなり、特に秋田県は都道府県の中でも少子高齢化が一番進み、人口減も急速に進行すると予想されています。病院環境も変化の時代を迎えています。診療を含めて病院のあり方も再考して、変化させていかなくてはならない変革期にきているのだと思います。ところで、中国での新型コロナウイルスは収束に向かうという報道があります。この新型コロナウイルスには2種類の型、S型と、より病原性の強いL型があり、武漢市での流行はL型が優勢だったようですが、最終的にはS型の方が多くなったこととです。病原性が強いために返って宿主の人間が亡くなつて拡散できず、弱い病原性のS型のようなウイルスが拡散して、結果として新型コロナウイルスに免疫を持つ人が増えて感染の拡大が阻止されたらしいのですがどうでしょうか。L型・S型説は本当なのかどうかは不明ですが、コロナウイルスが変異して病原性や感染力が低下したため、中国での流行が収束してきているとも考えられます。以前に、同様の理由で収束を迎える小説を読んだ気もしますがどうでしょうか。

さて、当院の今年のテーマは『change』です。自他共に変化しなければならぬ時期になってきた感じがします。大事なことはラグビーワールドカップの言葉ではないのですが『ワンチーム (one team)』を作り上げて、これからの精神医療の変化に対応していくことではないかと思ったりしています。頑張ります。よき思い出となるように！

こんにちは。新看護部長です！



看護部長
石川 桂美

はじめまして、4月より秋田緑ヶ丘病院の看護部長に就任した石川桂美（かつみ）でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで、副看護部長として前看護部長と連携し病院の理念・目標を達成するべく取り組んでまいりました。また、看護部の運営に関しても引継ぎの下にできるだけ皆様にご迷惑をおかけすることのないよう、頑張つていきたいと思っています。

今年度、秋田緑ヶ丘病院は病院機能評価更新という大きな目標に向け取り組んでおります。病院に来てくださった皆様が、外来診療、入院、退院、そして地域での生活充実を図るため、また当院を利用してくださる皆様に少しでも満足していただき、安全・安心・信頼の医療を提供すべく、それぞれの専門職が連携し一丸となり『チーム医療』の推進に励んでおります。

また、もう一つの病院目標として『職員一人一人の防災意識を高める』とあります。近年地震・水害など様々な自然災害が発生しております。当院は地域の避難場所としても指定されています。いざというときに個々が行動できるよう毎年、大規模災害を想定して避難訓練や災害時の対応に関する研修会を開催しております。これらを通して、病院に入院している患者さんや勤務している職員の安全確保と地域で暮らす皆様への貢献にも繋がってきたいと考えております。

『働きやすい職場環境作り』にも取り組んでおります。職員一人ひとり、組織にとって大切な宝物です。専門職業人として、人が人を育み、称え、導くこと、そしてお互い様の気持ちを大切に支えあうことが、生き生きと働き続けることへとつながると信じています。自己の研鑽を続け、誇り高く豊かな組織を創りあげられるような看護部でありたいと願います。

最後に、病院の特徴を活かしながら、ますます発展できることに寄与すべく努力してまいります。何卒、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

4月から ユニフォームが 変わります！



4月から看護のユニフォームが変わります！

これまでより色の種類が豊富になり、さらに華やかで親しみやすい雰囲気になります！

「看護を語る会」を開催しました



北一病棟
主任
木村 洋一

2月27日（木）令和初の看護を語る会を開催しました。

看護を語る会は毎年新人看護師の成長を振り返り、看護師指導者との絆を深めることを目的としています。新人看護師からは、当院に入職してからのナラティブ体験を発表してもらい、各病棟の新人指導者、病棟師長、看護部長からその発表に対し感想をもらいます。

会は、和やかな雰囲気で行われ、新人看護師、指導者が看護に対する思いを遠慮なく話し合いながら今年度も内容の濃いすばらしい看護を語る会を終えることができました。

今後も新人看護師、指導者ともに成長し続け、すばらしい看護が提供できるよう励んで行きたいと思っています。



大規模災害を想定した防災訓練を実施しました

3月12日（木）に、大規模災害が発生したことを想定した防災訓練を行いました。秋田県内陸を震源とした震度7の地震が発生したという想定のもと、停電や通信網の遮断など大きな混乱が生じた中で、当院として何ができるのか、何をしなければいけないのかを検証しました。

今回の訓練で3回目の実施となりますが、被災状況が病棟に伝わりにくかったなど、情報共有の面で課題が残る結果となった一方、患者さんの避難誘導がスムーズに行うことができたなど、訓練を重ねた成果も見ることができました。

また、反省会では、訓練に参加しての感想や反省点が積極的に発言され改善点が明確になり、次につながる大変有意義な訓練だったように思います。

病院として、まずは人命を守ることが最優先とされますが、被災した際にその後病院としての機能を果たせるのかどうか、つまり、医療提供を継続できるかどうかを判断することも重要なミッションとなります。有事の際に的確な行動をとれるよう、今回のような訓練を通じて一人ひとりの防災に対する意識を高めていきたいと感じました。



病棟の避難の様子



本部に被害状況を報告する様子

第11回地域生活支援研修会を開催しました。



ハローワーク秋田
小松 氏

仕事を継続して行くためのノウハウや仕事は基本的にストレスであり発散、予防の仕方を学ぶ事ができます。

続いてウェルビューいづみ障害者就業・生活支援センターの主任就業・生活支援ワーカーの牧野様より就職、その後の職業生活の継続についてウェルビューいづみの具体的な支援内容と就職までの流れの説明を頂き、就職後も仕事を継続して行くためのノウハウや仕事は基本的にストレスであり発散、予防の仕方を学ぶ事ができます。

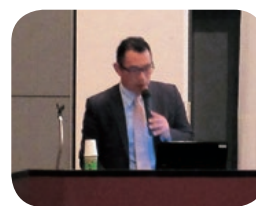
今回は、「精神障がい者の『働きたい』を支える支援」をテーマに行いました。当日は、当事者の方やご家族、関係機関など総勢47名の出席となりました。講義については、初めにハローワーク秋田専門支援部門就職促進指導官の小松様より精神障がい者の就職状況と就労支援について働くことの意義やハローワークの専門支援部門業務内容について、又現在の新規求職申込件数や就職件数などのデータを基に精神障がい者の就職件数が6年前に比べて伸びているとお話がありました。

「具体的な業務活動を知る事が出来とても良かった。」「ハローワークとの距離が近くなった感じがとても良かった。」「障がい者が就労するまでと、定着するための支援の流れを知る事ができ、まずは、窓口を把握する事が重要と感じた。」などの感想があり、短時間で有意義な時間を共有する事ができました。

来年度も皆様へ情報を発信できるように研修会を行いたいと考えておりますので宜しくお願い致します。



指定相談支援
事業所クローバー
相談支援専門員
成田 聡



ウェルビューいづみ
牧野 氏

た。又支援者のかかわり方における注意点のお話もありました。

